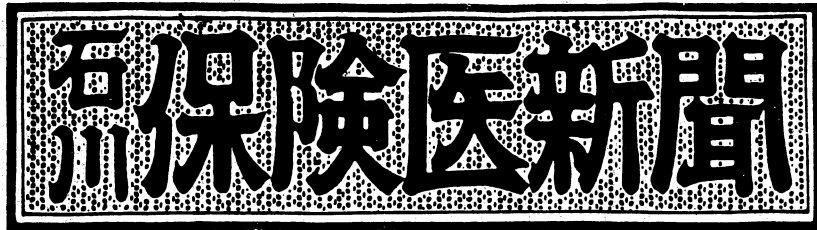


●●● 主な記事 ●●●

- 2面 全国審査・指導問題交流集会
- 3面 /
- 4面 全国機関紙担当者経験交流集会
- 5面 当院の在宅医療「新谷外科医院」
- 6面 秋の食べ歩き会「ラズベリー」



発行所  
**石川県保険医協会**  
 金沢市尾張町1丁目9番11号  
 〒920 尾張町レジデンス2F  
 電話 (0762) 22-5373番  
 発行人 平松昌司  
 印刷所 ユーアイ印刷

### 市町村の乳幼児医療費助成事業

1994年10月1日現在

郡市	自治体	県単独事業への上乗せ						窓口負担
		0歳児		1歳児		2歳児		
		外来	入院	外来	入院	外来	入院	
	石川県	○	○		○		○	1,000円 足切り
	金沢市	○	○	○	○		○	足切り
	七尾市	○	○	○	○		○	
	小松市	○	○	○	○		○	
	輪島市	○	○		○		○	1,000円
	珠洲市	○	○		○		○	
	羽咋市	○	○	○	○		○	
	加賀市	○	○	○	○		○	
	松任市	○	○	○	○		○	
江沼郡	山中町	○	○	○	○		○	1,000円
能美郡	根上町	○	○	○	○		○	1,000円
	寺井町	○	○	○	○		○	1,000円
<注1>	辰口町	○	○	○	○		○	1,000円
	川北町	○	○	○	○		○	1,000円
石川郡	美川町	○	○	○	○		○	1,000円
	鶴来町	○	○	○	○		○	
	野々市	○	○	○	○		○	
	河内村	○	○	○	○		○	1,000円
	吉野谷村	○	○	○	○		○	1,000円
	鳥越村	○	○	○	○		○	1,000円
	尾口村	○	○	○	○		○	1,000円
	白峰村	○	○	○	○		○	1,000円
河北郡	津幡町	○	○	○	○		○	
	高松町	○	○	○	○		○	
	七塚町	○	○	○	○		○	
	宇ノ気町	○	○	○	○		○	
	内灘町	○	○	○	○		○	1,000円
羽咋郡	富来町	○	○	○	○		○	
	志雄町	○	○	○	○		○	
	志賀町	○	○	○	○		○	
	押水町	○	○	○	○		○	1,000円
鹿島郡	中島町	○	○	○	○		○	1,000円
	鹿島町	○	○	○	○		○	1,000円
	能登島町	○	○	○	○		○	1,000円
	田鶴浜町	○	○	○	○		○	1,000円
<注2>	鳥屋町	○	○	△	△	△	△	1,000円
<注2>	鹿西町	○	○	△	△		△	1,000円
鳳至郡	門前町	○	○	○	○		○	1,000円
<注3>	六水町	○	○					1,000円
	能都町	○	○	○	○		○	1,000円
	柳田村	○	○	○	○		○	1,000円
	内浦町	○	○	○	○		○	

- 注1. 辰口町では3歳～5歳児の入院医療費も助成している。
- 2. 鳥屋町と鹿西町の△印は2分の1助成の意味である。
- 3. 六水町は95年4月以降、1～2歳児の外来・入院とも助成する予定。
- 4. 県単独事業の1,000円足切りを補填している自治体は24カ所。

## 十月からの乳幼児医療費助成 半数の自治体が県単独事業に上乗せ

石川県の乳幼児医療費助成が十月一日から一、二歳児の入院医療費まで助成対象に広がったことに伴い、各市町村ではそれぞれ十月補正予算を組み、助成対象を広げている。このほど保険医協会の調査により、一、二歳児で外来・入院とも助成対象にしているのは、四十一市町村のうち二十カ所、約半数の自治体が県単独事業を上回って実施していることが明らかになった。またゼロ歳児の千円の自己負担分を助成しているところは二十四カ所もあり、県単独事業の改善の必要性を示唆している。(別表参照)

十月以降、一、二歳児ま

で外来・入院とも助成対象に広げた自治体は、羽咋市をはじめ、山中町、寺井町、野々市町、内灘町、富来町、志雄町、志賀町、押水町、鳥屋町、能都町の一市十町で、以前から実施しているのは、根上町、辰口町、川北町、美川町、河内村、吉野谷村、鳥越村、尾口村、白峰村の四町五村である。来年四月以降、さらに制度改善を進めるため、今回の実態調査に基づき県厚生部や各市町村への働きかけを強めていきたい。保険医協会では、十一月十三日投票の金沢市長選挙立候補者に今回の実態調査に基づく要望書を提出し、制度改善

十月からの入院時食事療養費導入に伴い、入院患者の自己負担が大幅に増やされた。これに対し、入院時食事療養の標準負担額の自治体助成を求める運動が全国的に広がり、厚生省の思惑に反して、これまで約半数の二十三都道府県で重度身障者や乳幼児、母子家庭などに対する助成を行って

### 半数の都道府県が 入院給食費を助成

すること、②歯科医療については対象年齢を六歳児まで引き上げること、③千円足切りの償還払いを撤廃し、現物給付に改めること)を申し入れる。また、来年四月に行われる統一地方選挙に向けて、首長選挙が行われる自治体にはその都度、制度改善を要請することになっている。

### 第2休業保障の募集を決定

—1995年度から募集を開始します—

保団連の休業保障制度(最高8口加入、月168万円)を補完する制度として、最近、第2休業保障制度(損保会社の所得保障保険)を実施している協会が増えています。石川協会でも休保8口加入者を対象に意向調査を行い、20人以上の希望者があれば実施することにしました。先頃、休保8口加入者(214人)に意向調査を行ったところ、43人の加入希望者があったため、来年度から第2休業保障制度の募集を開始することを決定しました。

なお、第2休保の募集対象者は、休保の8口加入者および年齢制限による5口加入者に限定して、効率の良い募集を行います。募集方法は以下の通りです。

《募集時期》 2月1日～28日  
 《制度発足日》 4月1日  
 《受託会社》 三井海上火災保険株式会社

《参考資料》休保加入者：520人、3,037口(会員比67.5%)  
 8口加入者：214人、1,712口(加入者比41.2%)

### 医心凡語

誰しも巨人の優勝を疑わなかった。セ・リーグのペナントレースは、中日の奇跡的とも思える猛追に遭い、最終戦までもつれ込んだが結局巨人が逃げ切った。西武と対決した日本シリーズでは初戦に大敗し、今年も西武かと思われたが、長嶋野球が底力を発揮して日本一に輝いた。西武と四度目のシリーズ対戦した巨人にとって対西武初勝利であり、シリーズ三度目の挑戦をした長嶋茂雄監督にとっても初の栄冠である。今、優勝記事を見ながらこの原稿を書いているが、我が医療界に多数おおいでの狂信的とも思えるジャイアンツ・ファンの中には、昨夜の美酒で二日酔いになった方も結構いらっしやるのではないかと

土壇場まで追い詰められながら、巨人・中日の最終日を「国民的行事」と呼び、語録をさらに一つ増やした長嶋監督には不思議な華やかさがある。

政局が未だに混沌しながらも、長い経済不況を脱しつつある今こそ、このような明るさ・華やかさが求められる。

振り返るに我が医療界はどうか。どこを見回しても明るい材料が見当たらず、そればかりか、上気道炎に対する消炎鎮痛剤やビタミン剤の使用制限など、我々医師の持つ裁量権まで奪われつつある。

我々には竹槍を持つことも許されないのだろうか。

# 個別指導事件から一年

## 富山で全国審査・指導問題交流集会

二度と不幸を起こさないために／国民の健康の担い手としての責務を果たすために



### 記念講演

## 行政手続法と指導・監査制度

茨城大学教授 新井 章

(註) 講師は、茨城大学人文学部教授で憲法学の専門家であり、東京保険医協会顧問弁護士を二十年続け現在に至る。

行政指導の内容があくまでも相手方の任意の協力によつてのみ実現されるものであることに留意しなければならぬ。

医療内容を法律で決める国があるか。保険医療内容に関する厚生省令の療養担当規則また然りである。

### 集団指導が指導大綱の基本

次に、行政手続法の欠点に触れる。監査(行政処分)が、本法の適用外になっていることである。これはほとんどないことである。監査手続きをこそ本法で取り締ますべきなのである。それと

本日の保団連集会で講演する機会を得たことに、私は深い意義と光栄を感じる。国民の悩みを解決する仕事の点では私は皆さんと同一の立場であり、国民の明日の幸せのために共に頑張ろうと思っている。

### 行政指導の一般原則とは

#### 一般原則とは

与えられたテーマに関して、まずその大原則を理解してもらうために、参考資料の法令「行政手続法」の第四章(行政指導の一般原則)第三二条を読む。

「行政指導にあっては、行政指導に携わる者は、い

やくも当該行政機関の任務又は所掌事務の範囲を逸脱してはならないこと、及

この一カ条のみをみても、現今当局の行政指導がいかに一般原則に背く形で全国に蔓延し、そのために開業医たちが悩み苦しむ傷ついているかが分かると思う。行政手続法の理念と現状との間には、壮大にして悲劇的なギャップが存在している。このギャップを埋めるには、正義の法律を曲げる方法と歪んだ現状を矯める方法がある。前者は許されない! なぜ、いかなる経過で、かくも歪んだ現状になったかについては、『月刊保団連』一九九四年四月号の三十二〜三十七頁の拙論を参照してほしい。

「行政指導にあっては、指定、保険医の登録に関する法律をみよう。参考資料の『健康保険法』(大正十一年四月)の第四

「行政指導にあっては、指定、保険医の登録に関する法律をみよう。参考資料の『健康保険法』(大正十一年四月)の第四

「行政指導にあっては、指定、保険医の登録に関する法律をみよう。参考資料の『健康保険法』(大正十一年四月)の第四

行政は監査のための予備手段化して、極めて不適當な法律違反であり、法律家からみて全く目を覆いたくなる状況である。

一部減点非支払いは手続的には可能であるが、その正当性は別問題である。ただし、審査は、本来は一般商慣行における債権・債務の関係で生じる問題に外ならないのであって、医療機関と保険者の問題であり、行政が行う指導や監査と同一土俵上で論ずることではない。

次に、行政手続法の欠点に触れる。監査(行政処分)が、本法の適用外になっていることである。これはほとんどないことである。監査手続きをこそ本法で取り締ますべきなのである。それと

最後に、『月刊保団連』一九九四年十月号巻頭言「道」で私が主張したように、保険医療制度のあまりにも度を過ぎた官主導の現状に対抗して、保険医団体が主体的な中長期的プログラムの自主作成に速やかに着手し、専門の学者、実務家の協力のもとに真に国民のための法律を作ること

最後に、『月刊保団連』一九九四年十月号巻頭言「道」で私が主張したように、保険医療制度のあまりにも度を過ぎた官主導の現状に対抗して、保険医団体が主体的な中長期的プログラムの自主作成に速やかに着手し、専門の学者、実務家の協力のもとに真に国民のための法律を作ること

最後に、『月刊保団連』一九九四年十月号巻頭言「道」で私が主張したように、保険医療制度のあまりにも度を過ぎた官主導の現状に対抗して、保険医団体が主体的な中長期的プログラムの自主作成に速やかに着手し、専門の学者、実務家の協力のもとに真に国民のための法律を作ること

最後に、『月刊保団連』一九九四年十月号巻頭言「道」で私が主張したように、保険医療制度のあまりにも度を過ぎた官主導の現状に対抗して、保険医団体が主体的な中長期的プログラムの自主作成に速やかに着手し、専門の学者、実務家の協力のもとに真に国民のための法律を作ること

最後に、『月刊保団連』一九九四年十月号巻頭言「道」で私が主張したように、保険医療制度のあまりにも度を過ぎた官主導の現状に対抗して、保険医団体が主体的な中長期的プログラムの自主作成に速やかに着手し、専門の学者、実務家の協力のもとに真に国民のための法律を作ること

最後に、『月刊保団連』一九九四年十月号巻頭言「道」で私が主張したように、保険医療制度のあまりにも度を過ぎた官主導の現状に対抗して、保険医団体が主体的な中長期的プログラムの自主作成に速やかに着手し、専門の学者、実務家の協力のもとに真に国民のための法律を作ること

## 富山個別指導事件一周年集会・立山アピール

富山県立山町の山間部で、住民の信頼を一身に受けて盛業中の川腰肇医師は今から約一年前の十月十一日、立山山麓常願寺川の橋梁から身を投げ自らの命を断った。大きな地域内で遠隔の往診も厭わず、休日の診療にも気軽に応じた若き医師は、今後大いに期待されるところであり、その死は、ご家族と地域住民を悲嘆の底に落としてしまった。

中新川郡医師会、富山県保険医協会の調査によって、川腰医師を死に追い込んだのは、富山県保険課が行った保険医個別指導に起因することが、次第に明らかになった。個別指導が初めての医師に対して、居丈高の指導官は終始怒鳴りっぱなしであったという。懇切丁寧な指導を明記した指導大綱を、大きく逸脱した事実の証言が集まるにつれ、県下の保険医の怒りと抗議が噴出した。保険医協会と保団連の組織を挙げての取り組みは、全国の保険医の間に広がり、共感を呼び、富山県、厚生省への抗議が相次いだ。地方レベル全国レベルのマスコミも本事件の取材を始めた。中新川郡医師会、保険医協会の相次ぐ抗議声明、技官罷免要求、指導改善要求は、運動の全国的な広がりの中で、鈍重な県医師会を動かす、日医を動かす、富山県議会、衆議院厚生委員会、中央社会医療協議会の取り上げるところとなり、富山に発生した保険医の事件は、国の政策の見直しを考慮させるまでに至った。事後の県下の保険医個別指導は明らかに改善が見られ、会場、立会人、報告書などの扱いが一変し、指導官の態度も良くなった。指導を受けた医師たちが証言している。

われわれはこの一年を振り返り、日医会長の厚生省に対する「指導、監査の適正妥当化に関する申入れ」を引き出し、厚生省をして行政指導の見直しに踏み切らせたのは、富山県保険医協会を中心とする、全国の保険医の正義感に基づく精力的な活動の結果と評価したい。「活動なきところに、成果なし」の格言が言うごとく、現代の社会は、拱手傍観者(きょうしゅうぼうくあんしゃ)には何もかもを齎(もたら)さない。われわれは、この一年を通して活動こそ、行動こそが保険医の権利を守る原点であることを実感し、これを第一の教訓としたい。

われわれが活動を進める中で、本事件が富山の一技官の惹起したものととまらず、その背景に一九八二年の「国民医療費適正化推進本部」の設置以来、厚生省が進めている「保険診療適正化のための指導、監査の推進」の政策があることを知った。医療費削減のためには、保険医の人権が容易に踏みじられることも知った。保険診療適正化の内容が、保険診療費の適正化に変質していることを知り、国民の健康のための医療よりも、医療「費」に固執する厚生行政に慨嘆せざるをえない。しかしわれわれは、いかなる医療行政のもとでも、保険医としての権利を守りながら、国民の健康の担い手としての責務を果たさなければならぬ。

時あたかも、新法、行政手続法施行開始の月である。国民の権利、利益を保護することを基本的な目的にしている本法は、強圧的な行政指導を制限することは明らかである。保険医は行政の行う指導、監査、審査からその権益を守るために、行政手続法の研究と活用と知識の普及を急がなければならない。これが、厳しすぎる医療保険制度と苛酷すぎる個別指導実施の前に散った、川腰肇医師の死を無にしないことにつながるものである。

富山県個別指導事件一周年集会参加者一同



全国から130人が富山に集まって開かれた全国審査・指導問題交流集会 (10月9日・立山国際ホテル)

ピア・レビュー導入の狙い

ピア・レビュー導入の狙い... 厚生省は五月、中医協に「審査・指導・監査小委員会」を設け、制度の見直しについて検討を始めた。これは十月の行政手続法施行に対応すると共に許認可事項を届出制に移行するための条件整備を目的としている。

（文責 安藤良一）

ピア・レビュー導入の狙い

ピア・レビュー導入の狙い... 厚生省は五月、中医協に「審査・指導・監査小委員会」を設け、制度の見直しについて検討を始めた。これは十月の行政手続法施行に対応すると共に許認可事項を届出制に移行するための条件整備を目的としている。

（文責 安藤良一）

ピア・レビュー導入の狙い

ピア・レビュー導入の狙い... 厚生省は五月、中医協に「審査・指導・監査小委員会」を設け、制度の見直しについて検討を始めた。これは十月の行政手続法施行に対応すると共に許認可事項を届出制に移行するための条件整備を目的としている。

（文責 安藤良一）

基調報告

審査・指導・監査をめぐる新たな情勢と改善運動の課題

保団連副会長 河野和夫

保団連が審査改善の提言まとめる... 厚生省は五月、中医協に「審査・指導・監査小委員会」を設け、制度の見直しについて検討を始めた。これは十月の行政手続法施行に対応すると共に許認可事項を届出制に移行するための条件整備を目的としている。

連の見解と課題、要求を示したい... 厚生省は五月、中医協に「審査・指導・監査小委員会」を設け、制度の見直しについて検討を始めた。これは十月の行政手続法施行に対応すると共に許認可事項を届出制に移行するための条件整備を目的としている。

査)をめぐる動きについては、米国の前例からみて、わが国にとって異質の問題が多い制度であるにもかかわらず、日本の制度に対応できるものに調整し、医療担当者により深く行政支配下の第三者機関に組み込んで徹底的に医療費削減策を推進する体制を狙っていると思われる。診療側に、ピア・レビューによって行政力を弱め得るとの期待があるとすれば幻想に過ぎない。前述の中医協の報告にいう総合的見直しと連動させて、審査制度全般を根本的に改編することを目指している。

現状でも、医療医学に基づくべき審査を経済審査に変質させ、指導に自主返還を持ち込み、過剰診療などを不当診療として監査にかけるとして、保険診療そのものを萎縮診療に追い込んでいく。

医療費削減政策の打破が運動課題... 従って、審査・指導・監査制度の共通の至上命題となっている国民医療費削減政策そのものを打破することが、われわれ保険医団体の改善運動の中心課題なのだ。見直し論が中医協論議にのぼった今を好機ととらえ、国民の健康権と保険医の権利を確立する立場で、これらの制度を抜本的に改善する運動を先制的に集中して進めることが求められる。このような運動を、十月九日のこの交流集会を起点に全国各地で一斉に繰り広げようではないか。

（文責 安藤良一）

（文責 安藤良一）

（文責 安藤良一）

審査問題分科会

審査改善運動で熱心な討論

一、審査をめぐる情勢... (一) 保険者による圧力 健保連は今年四月、基金に対し、次の要望事項を提出している。

①重点審査により比重を置いた審査業務の効率化、合理化のため、審査方法を検討し、抜本的改善を図る。

②関連通知や疑義解釈を整理、明確化し、「審査の標準化」を図る。

③誤請求の多い医療機関への指導の強化、特に問題の多い医療機関についての情報の開示。

（文責 中田理）

指導問題分科会

全国的な運動により指導の改善が進む

一時間三十分ほどの時間であったが、実に熱心に各協会からの意見が次々と出され、時間が足りないほどの白熱した分科会であった。この中で注目すべき点は、今回の不幸な事件について富山県保険協会からのその後の報告であった。

一、事件当日の厚生部長・保険課長以下、すべての人事交代、問題の柳枝官の退職、県医師会長・事務長の辞職。

二、その後、指導の時、技官の態度を立ち合い人が県医師会に報告すると同時に指導された先生も自分の

受けた状況について医師会に報告するようになり、以後、自主返還は一年間全くないと報告された。確かに本場に不幸な事件ではあったが、それをきっかけに富山県保険協会をはじめとして全国の保険協会が総力をあげて事件の究明・指導の実態を明らかにしたことにより、現在、全国的に指導の改善がなされつつあることは、われわれが明らかに不当と思えることに対して声を上げ、行動することにより変革できる可能性を示唆した貴重な報告であった。

（文責 近藤邦夫）



# 全国機関紙担当者交流集会

## 信用できない大新聞

大平 政樹 (金沢市・外科)

今年度の全国機関紙交流集会は十月三十日、大阪のアーバンホテルで開催された。午前十時から午後三時まで、密度の濃い(すこく)く疲れるということでもあ

るが、講演と討論を行い、最後に各地の機関紙の実状を参加者全員が報告した。午前中の講演は大谷女子短期大学教授、川崎泰資氏が「七つの大罪」という題で、現在の特に大新聞と政治家との繋がりとそれに潜む危険性を指摘された。講演の中で一貫して強調されていたことは、大新聞は決

て、都合の良い記事だけが書かれ、時には誇張される。そこに真実の政治の姿も政治家自身も写ってはいない。紙面に書けないオフレコの話も多かったのですが、傾聴すべき点も多く、意外というよりも、日本のマスコミに対する失望感を味わった。逆

に、だからこそのわれわれの機関紙でも国民の立場で、公防止し核廃絶のための医師、

### 持論

顎関節症とは、主として咬合異常(咬み合わせ異常、顎のずれ)に起因する顎関節部を中心とした疼痛、運動時痛、異和感、開口障害などの運動障害を主症状とする疾患である。

近年、この疾患が注目を浴びてきたのは、全身との関わりが指摘され、マスキなどでも度々取り上げられるようになったからである。頭痛、肩こり、目まい、腰痛、手足のしびれをはじめ、体の各部に疼痛などの症状を増悪させるそのメカニズムは、咬合異常(顎のずれ)による機械的なストレス、精神的ストレス

平と真実に基づいて紙面をつくること、今最も大切なのだと思いを新たにしたいでもあります。午後からの各県からの現状報告では大阪協会からの「外国での薬剤価格調査」の実践報告があり、それが各マスコミに取り上げられ、大きな反響を呼んだことが

話題となった。これからの協会新聞の方向性として、こうしたインパクトのある企画力が必要なのではないかというところが全員の一致した意見であった。帰りの列車の中では心地良い? 疲れでぐっすり眠ってしまいました。

た理解しやすい「核兵器に対する今後の対応」についての講演を拝聴した。以下の抄録を断片的に述べる。現在IPPNNW参加国は八十カ国に達した。まず、核兵器廃絶の前に戦争そのものの防止、また、その根元となる貧困の防止と、さらに環境への影響などがその前提となるであろう。五大核保有国は、抑止力(SDI)が平和を維持すると言いが、それでは平和というドラマは始まらない。まず、五大国がNPT(核不拡散条約)を自らに廃絶しなければならぬ。でなければ五大国が世界を思いのままに制覇することになる。

う。世界の人口が五十億とすれば一人一トンの核爆弾を持つことになる。従ってスタートIIは、その一歩に過ぎないことになる。南アフリカのマンデラ大統領は、国として核兵器を拒絶することは不可能では

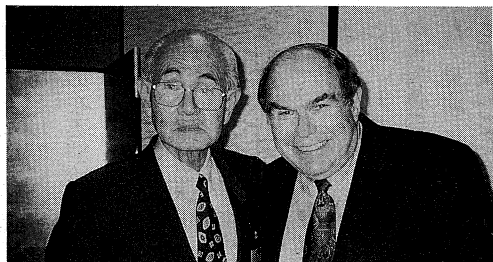
ないという。希望をもって努力し続けられれば、世界の平和は維持できると言っている。最後にサイデル博士歓迎のレセプションが催され、その乾杯の音頭に指名された私は、声を大にして次の

言葉で大会を締めたい。「人類と核は絶対共存できない」ならば「非核・平和運動こそ医の倫理なり(バイオエシックス)」と声を大にして締めくくった。これには満場の拍手のあったことを付記しておく。

### 寄稿

## 第5回反核医師の会 仙台市で開かれる

登谷 栄作 (松任市・内科)



IPPNW共同会長 サイデル博士(右)と一緒に

十月二十二日、仙台市で開かれた「第五回核戦争を防止し核廃絶のための医師、

医学者のつどい」に参加し、サイデル博士(IPPNNW 共同会長)のスライドを使っ

た。ところが、たとえスタートIIが実施されても、五十億トンの核爆弾が残るとい

う。ところが、たとえスタートIIが実施されても、五十億トンの核爆弾が残るとい

う。ところが、たとえスタートIIが実施されても、五十億トンの核爆弾が残るとい

う。ところが、たとえスタートIIが実施されても、五十億トンの核爆弾が残るとい

### 歯科から医科へ

## 顎関節症で頭痛、肩こりも

### 医科と歯科の連携が必要

顎関節症とは、主として咬合異常(咬み合わせ異常、顎のずれ)に起因する顎関節部を中心とした疼痛、運動時痛、異和感、開口障害などの運動障害を主症状とする疾患である。近年、この疾患が注目を浴びてきたのは、全身との関わりが指摘され、マスキなどでも度々取り上げられるようになったからである。頭痛、肩こり、目まい、腰痛、手足のしびれをはじめ、体の各部に疼痛などの症状を増悪させるそのメカニズムは、咬合異常(顎のずれ)による機械的なストレス、精神的ストレス

が原因といっても、症状の発症に至る経緯が極めて長いのが特徴で、患者はその間、痛みを訴えて脳外科、神経内科、耳鼻咽喉科、整形外科、内科と渡り歩

断を行って行く必要がある。そしてその結果、いわゆる顎関節症が疑われる場合、口腔内で欠損歯があるのに入れ歯を入れて

いない、歯並びが悪い、咬み合

わせた深いなどの所見があれば、患者にとって不幸なことは、歯科受診を進めて欲しい。医科と歯科が教育の中で分けられたことも知れない。医科の先生方は、まさか一本の歯が原因で顎がずれ、頭痛や肩こりが起きるとは考えられないだろうし、歯科でも一本の歯の治療にあたっては口腔内だけでなく、常に顎のずれや頭頸部、ひいては全身への視点が重要である。幸い、保険医協会は医科と歯科が共存している。今こそ、われわれは互いに手を取り合って患者のために共に学び、診療にあたりたいと思う。

## 10月度理事会点描

### 入院給食・付添看護の電話相談を企画

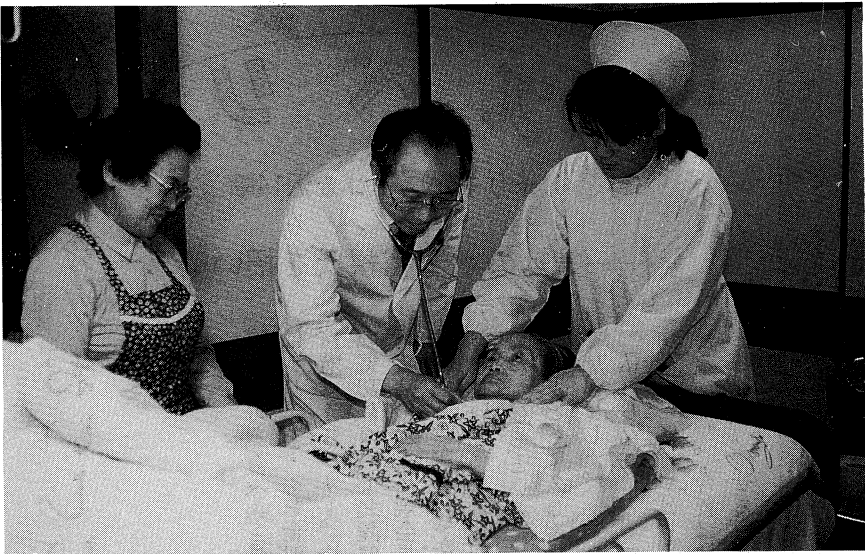
第11回理事会  
10月4日・15人出席

野事務局員の派遣決定。協会二十年史の編集状況が報告され、各部長に原稿執筆の催促あり。十一月十六日より三日間行われる「入院給食・付添看護119番」の進め方を協議した。報道機関に取材を要請することも決定。どの程度の反響があるのか不安ではある。(西村 記)

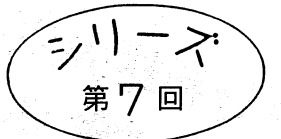
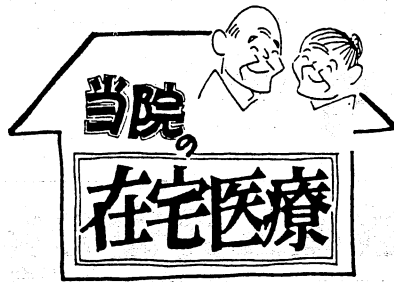
### 協会20年史 編集作業進む

第12回理事会  
10月18日・12人出席

えしました。行政手続法については、行政との対応に大切に、勉強すべきです。給食有料化と付添看護となりました。非ステロイド消炎剤の上気道炎などに対する使用制限などは、全国の実地医家が行っていることに対する一方的な制限であり、意見が交わされました。職員雇用問題は大切であり、懇談会の開催にあたって「福利厚生に関するアンケート」を実施することになりました。乳幼児医療費助成制度は、もう少し調査集計するとの事務局からの報告があり、今回は目下進行中の協会二十年史の編集に関する討論時間が一番長かったと思います。(平松 記)



在宅医療にとって家族の介護力が必要



### 新谷外科医院 (金沢市菊川1丁目16-15)

## 高齢化する地域の 期待にこたえて

往診のきっかけ  
外科を標榜している十九床の有床診療所で、開院して七年たちました。外科を看板にあげていると整形外科的疾患が多くなる中で、肛門疾患にも力を入れ手術も行っています。

当院は金沢市内、犀川河畔菊川小学校のそばにあります。校下でのお年寄りの東の横綱九十八歳のおばあちゃん、西の横綱九十六歳のおじいちゃん、共に診させてもらっており、地域高齢化社会の医療の一端を担い、また、期待されている

元気づかせるように、冗談のひとつも言うよう努力している位でしょうか。診ている側としては高齢の老人でもあり、いつ何が起きるか分かりません。有床診療所のメリットを生かし、当直医とともに二十四時間体制を敷いています。在宅医療の点数改定時、近所の内科の先生の申し込みにより、協力して、ドクター不在時に対応することになっています。今だかつて内科の先生に緊急発動の依頼をしたことがなく喜ばしく思っています。

今年十月から薬局の薬剤師さんと同行して、薬の指導をもらっています。寝たきりで意識障害のある患者さんにパナルジンをつぶして口に入れても、はき出してしまいうケースがありました。パナルジン顆粒は苦味がなくどうでしょうかとの指摘を受け、さっそく効果が現れています。

### 私の往診

往診にはこれといった特徴はありません。心掛けていることといえば介護している家族のひとと患者さんを見守っています。

## 介護者の健康も考え 今後、ショート・ステイも

### 在宅訪問看護

夫婦共に脳卒中後遺症のあるケースがあります。金沢老人訪問看護ステーションが待って訪問看護を待っています。複数の眼、複数の手があることにより、浣腸して排便させたり、清拭したり、往診では行き届かなかったケアができるようになり喜んでいます。

### 在宅医療というのは医療

機関の往診と薬剤師の訪問看護、訪問リハビリテーションの四本柱が有機的に結びついて初めて機能するように思います。(訪問リハビリテーションはどこに頼めばしてくれるのか情報がありません) 患者さんの苦しみを往診に行き、「何が一番



## ゲンチアナ紫

大石博司 (金沢市・産婦人科)

ゲンチアナ紫はカンジダ症に非常に効く。しかし、数年前、小児科のある先生から「ゲンチアナ紫は危険な薬であると学会で言っていた」というのを聞いたことがある。

何が危険かという点、塗布したままで放置すると皮膚がネクロウゼになるのである。普通、1%の溶液を使うが、乾燥すると濃度が高くなり、皮膚を障害するからである。

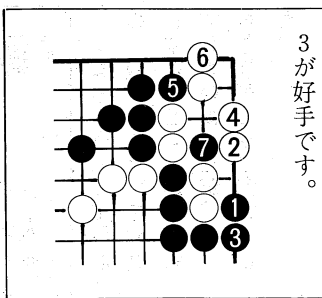
しかし以前から私は、この紫を塗布した二、三分後に水で洗浄することになっている。すると紫は、患部の皮膚だけに着色し、正常な皮膚は、ほんのわずかしこ染まらない。後遺症もなくカンジダには抜群に効く。ただし、この治療の保険点数は、原価が安過ぎて算定されない。ここで不思議なこととは、このゲンチアナ紫の治療が、昔は内外の教科書に掲載されていたが、ここ十数年来、日本の教科書には出ていないものが多い。ちなみに、アメリカでは一九九四年版の Bonson & Pernoll の産婦人科の教科書(第

九版)には次のような記載がある。カンジダ症が治りにくい場合には「カンジダ・グラブラータとカンジダ・トロピカリスはイミダゾール類には抵抗性を持つということを知っていることは重要なことである」と書かれてあり、その治療は「局所のゲンチアナ紫の塗布、硝酸カプセルの挿入、イソジン液での洗浄」とある。この本はアメリカの医師国家試験用として有名だそうである。古い薬でも、副作用の軽減法を考えれば、まだまだ使えることもあるんじゃないですかね。

## 協会の会員数

医科：563人  
歯科：212人  
合計：775人

### 囲碁解答

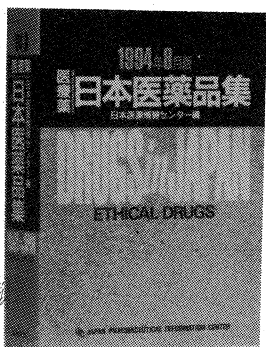


3が好手です。これから在宅医療を支えているのは、家族の熱意ある介護にあります。往診は在宅医療のほんの一部だと知りました。今後は在宅医療を支える介護者の健康を考え、ショート・ステイにも努力したいと思えます。

(新谷壽久)

## 医療薬日本医薬品集1994年8月版

- (財) 日本医薬情報センター 編集
  - (株) 薬業事報社 発行
  - B5判、1,950頁、定価21,000円(税込) 送料760円
  - お申し込みは書店へ。または、定価と送料を直接発行元の(株)薬業時報社(電話東京03-3265-7751、大阪06-231-7061)へお振り込み下さい。
- 【振替東京 3-48330】



# 栗野利雄先生の 記念碑めぐり [57]

## 銭屋五兵衛の銅像 (金沢市・金石)

### 「船にだけは手を出すな」 父にそむいた海の豪商

「加賀百万石」に対して「海の百万石」とうたわれた銭屋五兵衛は、一七七三年(安永二年)十一月二十五日、加賀国宮の腰(現在の金石町)に生まれた。幼名を茂助と名付けた。

その祖先は織田信長に滅ぼされた越前一条谷の武将、朝倉の家臣の血を引いている。父は「弥太郎」、母は「やす」といった。長男の茂助は五兵衛を名乗り、十七歳にして銭屋の七代目を継いだ。「船にだけは手を出すな」と言っていた父が死ぬと、

進取の気性止み難く、五兵衛は千石船を初めて手に入れた。生涯、その持ち船は、盛時五十隻にも及んだという。

五兵衛は生まれながらの商才を生かして東回り海道、西回り海道と、海のシルクロードを股にかけて疾駆した。北はオオロシア、エトロフ、南は沖縄まで、イギリスやアメリカ船とも交易し、広域貿易による巨利を博した。今や北前航路は空前の賑わいを成し、日本の政治を左右するまでの経済力に発達し、豪商の面



金石の松林の中にそびえ立つ銭屋五兵衛の銅像と、栗野先生

目は遺憾なく發揮された。反面、利権と引き替えに藩からはしばしば過大なご用金の調達が要求された。天保十一年の春、女房

の「おまさ」と本宅を離れて近くの隠居所に移り住み、「亀巢」と号して俳句に親しんだ。そこでは時々希代の天才発明家、大野辨吉との出会い

があった。長崎では洋医シーボルトの門下生であった辨吉は、幕末諸般の海外事情に通じていて、開国貿易の近いことを銭五に説いたのであった。

六年続いた天保大飢饉により藩財政もピンチに見舞われ、家老の奥村榮實(ひでざね)は莫大なご用金と引き代えに「永代渡海の免許」を銭五に与えた。奥村はその後に急死。代わって、そのころ藩士の中に藩政を左右する黒羽織党と称する若手の家臣団の一味が横行していた。

この劣勢を挽回するよう、銭五の胸の中に壮大な夢が膨らんだ。宿願だった河北潟の埋め立てと、新田開発の許可である。しかし工事が始まる

と大量の死魚が発生し、これを食べた村民が死んだ。黒羽織党は、今こそ銭屋の財産を没収する好機とばかり、「銭屋が石灰と偽って毒をまいた」という謀略情報を流したのである。藩命によりこの現地調査を担当した藩医黒川良安はこれを否定し、「プランクトン多発による赤潮が原因」と断定した。黒川は後に金沢医大の創始者となった人物である。

しかし藩は、この黒川報告書を無視して一八五二年(嘉永五年)九月十四日、投毒事件の容疑者として銭五一族を逮捕し、五兵衛以下四十五人は奉行所牢獄につながれた。同年十一月二十一日の朝、銭五は入牢のまま、鎖国

日本の開国の曙を見ることなく息を引き取った。翌年十二月六日、原判決言い渡しがあり、各々に磔刑、永年などの処刑が決まった。

五兵衛の雄魂は、金石町本龍寺内に鎮められている。

銭屋一族の全財産五百億円相当が没収され、家内断絶、上納したご用金は三百万両ともいわれ、今の金額にして一兆円を越えるだろうと銭五研究家の故鎬木勢岐教授は、その著書の中に述べている。

前田藩と豪商銭五の相互関係は、現在あたかも軍団アメリカと商社国日本との関係に酷似する。アメリカは日本の傭兵ではないはずである。

# 食べ歩き

ホリデイ・イン金沢14階

——気功の水上裕規氏を招いて——

## おいしい気功の話

小森 伊早子(金沢市)

今回の「食べ歩き会」はホリデイ・イン金沢の14階、ラズベリー。注目の気功について北陸気功研究会の水上裕規会長のご講演をうかがいながら、おいしいフランス料理がいただけるというので、主人とともに久しぶりで参加しました。

私たち女性にとって気功といえば、やはり「痩せるツボ」。今夜はなんと「痩せるツボ」

の極意を身に付けなくてはと、いそいそと家へ後にしました。

「北寄貝、万寿貝、赤貝のユズドレッシングショウガ風味」、牛肉の冷製シャキシャブの前菜をいただいていたから、いよいよ水上先生のお話です。

先生は気功とは意識の作用によって自分自身の心身を鍛錬することであり、中国に古くから伝えられる健康の科学であって、



水上先生(左)から気功を学ぶ参加者

決してマスコミなどで宣傳されているまやかしの術ではないことをやさしく解説されました。パトミントンやテニスにご堪能な北山先生や井口先生

からは、試合に際してのマインドコントロールに通ずるとの感想があり、呼吸法のお話からは、大石先生はゴルフのショットのときの息の仕方と一緒だなあと、感心されておりました。

「調身、調息、調心」の実習のあとは食事を交えての懇談です。「松茸入りコンソメスープ」で今年初めての秋の香りを楽しんでからは、オマール海老のアメリカンソース、「牛フィレ肉の香草ソース」と、もうおなかがいっぱい입니다。最後に「薩摩芋のババロア」をいただいて本当に満足して家に帰りました。

### 『保険診療の手引(1994版)』

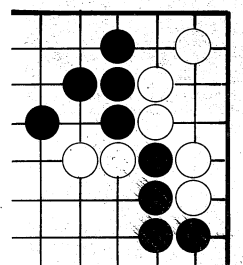
会員に無料配布します

今年4月、10月の点数改定を表やフローチャートを多数用いて分かりやすく集大成したものです。医科会員には一冊無料でお送りします。(追加1冊4000円)

あまりに楽しくて肝心の「痩せるツボ」をお聞かすのをすっかり忘れてしまいました。ごめんなさい。後日「保険医年金一時払い掛け金払い込みのご案内」をお送りします。



出題者  
七段 向井富治(金沢市・内科)



高林共平師範と小西敏春三段の対局から取材しました。黒番です。(解答は5面)

### 保険医年金のご加入

ありがとうございます

今年度保険医年金の募集は十月二十六日まで切らせていただきました。月払い千六百円、一時払い二百一十四口の加入がありました。

〈掛け金のお支払い方法〉

〈月払い〉第一回の引去り日は十二月二十六日です。〈一時払い〉十二月十五日までに協会に振り込んでください。後日「保険医年金一時払い掛け金払い込みのご案内」をお送りします。